

令和6年度 第9回
あまがさきWEBアンケート
結果集計

【テーマ】

公共施設マネジメントについて

【実施期間】

12月1日午前9時 ~ 12月10日午後5時

目的

尼崎市内に在住・在勤・在学の方々を対象にアンケート調査を実施することにより、市民の皆様のご意向やご意見を迅速に把握し、その結果を施策・事業の発案や見直しを検討する際の材料として活用することとしています。

回答者属性

回答者数	2,144人
------	--------

Q1：性別		
男	747	34.8%
女	1,350	63.0%
その他	9	0.4%
回答しない	38	1.8%

Q2：年代		
～19	15	0.7%
20代	43	2.0%
30代	314	14.6%
40代	535	25.0%
50代	670	31.3%
60代	393	18.3%
70代	149	6.9%
80～	25	1.2%

Q3：職業		
学生	21	1.0%
会社員	815	38.0%
自営業	116	5.4%
主婦・主夫	339	15.8%
公務員	147	6.9%
パートアルバイト	455	21.2%
無職	203	9.5%
その他	48	2.2%

Q4：(Q3で「会社員」「自営業」「公務員」「パートアルバイト」「その他」と回答した場合) 業種		
建設業	57	3.6%
製造業	238	15.1%
卸売・小売業、飲食店	183	11.6%
金融・保険業	69	4.4%
不動産業	25	1.6%
運輸・通信業	95	6.0%
サービス業	409	25.9%
公務員	150	9.5%
その他	355	22.5%

[n=1,581]

Q5：居住地区		
中央	242	11.3%
小田	339	15.8%
大庄	188	8.8%
立花	684	31.9%
武庫	215	10.0%
園田	347	16.2%
市外	107	5.0%
その他	22	1.0%

Q6：回答に使用しているデバイス(機器)		
スマートフォン	1,981	92.4%
パソコン	142	6.6%
タブレット	16	0.7%
スマートテレビ	2	0.1%
家庭用ゲーム機	1	0.05%
その他	2	0.1%

令和6年度 第9回

Q7: 過去1年間で、尼崎市の公共施設をそれぞれ、どのくらいの頻度で利用しましたか。

	週3以上	週1~2	月1~2	年数回	直近1年無
市役所(本庁、サービスセンター等)	18	14	122	1,364	626
北部保健福祉センター	6	2	29	333	1,774
南部保健福祉センター	3	4	26	169	1,942
生涯学習プラザ	12	78	207	656	1,191
ユース交流センター	4	9	30	86	2,015
地域総合センター	4	16	31	196	1,897
高齢者施設	14	7	16	46	2,061
障害者施設	10	4	6	32	2,092
図書館	13	72	280	548	1,231
福祉会館	3	11	19	119	1,992
体育館	18	84	46	235	1,761

※単一回答 ※入力必須

[施設ごとn=2,144]

(その他利用施設 名称)

歴史博物館	女性センターレピエ
尼崎城	尼崎市総合文化センター
いくしあ(あまがさき・ひと咲きプラザ)	ベイコム競技場
学校	地方卸売市場
保健所	防災センター
尼崎市立衛生研究所	塚口南地域学習館

※主な回答

Q8: 利用したいと考える公共施設の優先順位のうち、上位3つを選んでください。

ア 駅前など公共交通機関の利便性が高い	1,025	47.8%
イ 駐車場がある	731	34.1%
ウ 自宅から距離が近い	1,398	65.2%
エ 魅力的なイベントやプログラムがある	928	43.3%
オ 魅力的な設備や機能がある	688	32.1%
カ 建物が新しく快適	363	16.9%
キ 利用できる時間が長い	287	13.4%
ク 複数の行政窓口がある	400	18.7%
ケ 商業施設など民間施設と併設している	570	26.6%
コ その他(自由記述)	42	2.0%

※複数回答(上位3つ選択) ※入力必須

[n=2,144]

Q9: 「尼崎市公共施設マネジメント基本方針」に基づき、取組を進めていることを知っていますか。

はい	497	23.2%
いいえ	1,647	76.8%

※単一回答 ※入力必須

[n=2,144]

Q10: 「再編」の取組において、集約化、複合化、廃止等により施設の保有量を将来的に、30%以上削減する目標を掲げ、取組を進めていることを知っていますか。

はい	423	19.7%
いいえ	1,721	80.3%

※単一回答 ※入力必須

[n=2,144]

Q11: (Q9、10いずれかで「はい」と回答した方)どのような機会で見ましたか。

市報	404	76.7%
市のホームページ	172	32.6%
Youtube	17	3.2%
Facebook	8	1.5%
X	8	1.5%
その他SNS	7	1.3%
市報に同封して配布されたパンフレット	62	11.8%
対象施設の地域住民や利用者などを対象とした説明会やタウンミーティング	21	4.0%
本市が実施した尼崎市公共施設マネジメントシンポジウム	4	0.8%
みんなのサマーセミナーでの授業	3	0.6%
市民まつりや公共施設での展示パネル	43	8.2%
市民意見聴取手続き(パブリックコメント)	8	1.5%
その他	21	4.0%

※複数回答

[n=527]

(その他SNS(具体的な媒体))

LINE
e-mail
市議のFacebook
市長のFacebook・Instagram

※主な意見

(その他(自由記述))

仕事上で
再編反対のチラシなど
利用していた施設が廃止になった時
知り合いから聞いた

※主な回答

Q12: どのような手法をとれば市民に広く情報を伝えることができますか。

市報の特集記事による発信	1,346	62.8%
パンフレットなど、紙媒体での全戸的な発信(市報以外)	696	32.5%
市のホームページによる発信	608	28.4%
市の公式Youtube、Facebook、X等のSNSでの発信	606	28.3%
シンポジウムなど、この取組に特化した催しとして発信	34	1.6%
市民まつりなど、イベントの中の一つとして発信	422	19.7%
大きな説明パネルやポスターの、公共施設などへの掲示	780	36.4%
説明会やタウンミーティング	244	11.4%
その他	65	3.0%

※複数回答 ※入力必須

[n=2,144]

(その他(自由記述))

LINEのお知らせをよく見る
SNSでの広告
駅やバス停、スーパーなどでポスターを掲示してもらう

※主な回答

Q13: 取組を進めていくうえで、どのような方法が適切だと思いますか。

老朽化した施設から順次、複合化等による建替を行い、施設の量を減らすことで、経費負担を軽減する	1,381	64.4%
維持管理費用は増加するが、老朽化した施設の耐震化や延命化を行い、施設寿命を迎えた時に廃止する。	134	6.3%
施設を維持するために、施設利用料の値上げや、無料で利用できる施設を有料化する。	178	8.3%
施設を維持するために、施設利用料の値上げではなく、閉館日数の拡大や開館時間の縮減などサービス水準を縮小する。	121	5.6%
民間施設を借り上げてサービスを維持したうえで、公共施設を廃止する。	216	10.1%
値上げやサービス水準の縮小は行わず、税金で負担する。	114	5.3%

※単一回答 ※入力必須

[n=2,144]

Q14: 建替え、複合化、廃止等によって施設の量を削減する場合、どのようなことを期待又は懸念しますか。

防災機能が向上し、安全・安心な施設になる	1,204	56.2%
バリアフリー化等による障害者や高齢者に配慮した施設になる	917	42.8%
新たな利用者の発掘や、新たな交流の創出ができる	598	27.9%
省資源・省エネルギー化を図り、環境面に配慮した施設になる	638	29.8%
新しい施設で心地良く市民活動の促進ができる	612	28.5%
市民活動が停滞する	166	7.7%
市民サービスが低下する	411	19.2%
市外転出者が増加する、又は、市内への転入者が減少する	109	5.1%

※複数回答 ※入力必須

[n=2,144]

Q15: 取組に市民から理解が得られない場合に、市はどのような行動をすべきだと思いますか。

全員の理解が得られるまで丁寧に説明を行った上で取組を進めるべきである	335	15.6%
将来世代への財政的な負担が軽減できるのであれば、一部に理解が得られていなくても取組を進めるべきである	1,120	52.2%
丁寧に説明を行った上であれば、一部に理解が得られていなくても取組を進めるべきである	830	38.7%
取組の必要性が高ければ、全員の理解が得られていなくても取組を進めるべきである	805	37.5%
理解が得られるよう努めたとしても、理解が得られていない人が1人でもいるのであれば、取組を進めない方がよい	56	2.6%
値上げや事業の縮小など、市民へのサービス水準を下げるなどの代替案で、取組を進めるべきである	184	8.6%
取組を進めない方がよい	56	2.6%
わからない	146	6.8%
その他	41	1.9%

※複数回答 ※入力必須

[n=2,144]

(その他(自由記述))

一方的な説明のみで進めるのではなく、どのようなところが理解が得られていないか必ずミーティングなどで解決してから進めるべきである。
全員の一致は難しいが、理解が得られない層の理由は確認、叶えられるものは解決しておくべきだと思う。
公共サービスの低下は市外転出の動機になってしまうので、他市に大きな見劣りは避けてほしい。
財政負担に目を向けることは重要だが、将来世代の公共施設のアクセスの機会を減らすことにならないといいなと思う。
具体的にどの施設についてかで答えは変わってくると思う。
利用者の多い施設は需要があるわけで、そこは残して欲しい。支所はこれ以上減ると手続き等に障りが出てくるから減らさないで欲しい。
古い建物が危険だったり、放置するのは、本末転倒。
声を出さない、声の小さな市民の想いを引き出す工夫がない。
選択回答が極端過ぎて選べません。取り組みが必要なら丁寧に説明し、市民サービスが低下することのないような案を考えるべきです。

※主な意見

Q16: 取組について知るために、どんなイベント、どんな内容であれば参加したいと思いますか。

オンラインミーティングなど、現地に赴かなくても参加できる形式のイベントならば参加したい。
スタンプラリー等で楽しみながら、取組みが学べるイベント等。
お祭りやフリーマーケットなどの楽しいイベントと一緒に公共施設マネジメントの説明会を行なっているなど。
市報やネットに検討経緯や内容は掲載してほしい。意見もネットで記述できるようにしてほしい。
決まったことの共有ではなく、集まって、出た意見が活かされる可能性もあるなら参加したい。

※自由記述 ※入力必須
※主な意見

Q17: 説明会やタウンミーティングに参加しますか。

はい	1,284	59.9%
いいえ	860	40.1%

※単一回答 ※入力必須

[n=2,144]

Q18: (Q17で「いいえ」と回答した方)それはなぜですか。

公共施設は、現役世代(平日フルタイム勤務者)には利用機会が少なく興味がない。
関係する施設で、影響があれば参加する。なければならない。
WebやSNSで可能
参加したところで決定事項は変わらないだろうから
仕事の都合上参加しにくいのと、休みであれば子どもと遊びたいから。説明会に子どもと一緒にいきたいと思うようなイベントと併せて開催すれば参加しやすいかも知れないです。
決定した後に異論は唱えない。変更後の体制を十分に発信すれば十分と考える。

※自由記述 ※主な意見

Q19: 公共施設マネジメントについて、ご意見やご要望があればご回答ください。

こういったアンケートを活かして参考にして貰えればありがたいです。色々な市民の知見を活かす事は有益だと思います。
もっと子育て関連の施設を増やしてほしい。無料もしくは安く利用できる遊び場など。
関心があるところないところは個別に異なるので、手間ではあるとは思いますが個別具体的に細やかに意見聴取の機会を設けてほしい。リアクションはそう多くはないと思うが、気が付かない、知らないうちに話が進んでいた、という事が少なくなるような方法を考えてほしい
皆に広く告知して広く意見を受け入れるシステムを作っていただきたいです。
地域により施設のばらつきがあるように感じる。 市役所に行くのが不便。駅近くになれば良いのと思う。建て替えるなら考えてほしい。

※自由記述 ※主な意見